

## 《書籍紹介》

産婦人科の実際 2014年09月号(63巻 09号)  
新たな出生前診断・着床前診断の幕開け

企画：末岡 浩

金原出版株式会社（定価 ¥2,700 +税）

新聞報道では、産科婦人科学会で今後3年間をかけて着床前スクリーニング（preimplantation genetic screening; PGS）の妥当性を検討すると報じられています。PGSに関して、初歩的知識から整理して勉強したいとの声が寄せられていました。そんな中、時宜を得た大変分かりやすく、広い角度から解説している特集を見つけました。この書籍では、出生前遺伝子検査（NIPT）も議論されています。特にPGSは、本検査を実際に導入するかしないかに関わらず、今後のARTラボでは知識として必要になることだと思います。

我が国のPGSの現状を広く知るための良い書籍だと思います。

